

## V. 鉄道事故等と再発防止措置

### 1. 鉄道運転事故・輸送障害・インシデントの発生件数

#### 【事故等報告（鉄道事業法・鉄道事故等報告規則に基づく報告）】

平成 22 (2010) 年度の事故は 10 件でしたが、全てが線路内立入り等による人身障害事故によるもので、当社の起因で発生したものはありません。輸送障害は、3 件発生しました。

		平成 22 (2010) 年度	平成 21 (2009) 年度	平成 20 (2008) 年度
事故	列車衝突事故	0	0	0
	列車脱線事故	0	0	0
	列車火災事故	0	0	0
	踏切障害事故	2 (2)	2 (2)	1 (1)
	道路障害事故	0	0	0
	鉄道人身障害事故	8 (8)	5 (5)	5 (5)
	鉄道物損事故	0	0	0
合計	10	7	6	
輸送障害		3 [2]	3 [1]	0
インシデント		1	1	0

※ ( ) 数は、線路内立入り等による人身障害事故件数 [内数]

[ ] 数は、自然災害・第三者行為の件数 [内数]

### 2. 輸送障害・インシデントの内訳

#### 【輸送障害の内訳】

輸送障害とは、鉄道による輸送に障害を生じた事態であって、鉄道運転事故（上述の列車衝突事故・列車脱線事故等 7 項目）以外のものをいいます。

		平成 22 (2010) 年度	平成 21 (2009) 年度	平成 20 (2008) 年度
鉄道係員	信号			
	その他			
車両・鉄道施設	車両故障		2	
	転てつ装置故障			
	閉そく装置	1		
	信号装置故障			
	踏切保安設備			
	その他			
鉄道外	妨害			
	線路内支障			
	線路内立入り			
	踏切道			
	火災			
	その他	2 [2]	1 [1]	
		3	3	0

※ [ ] 数は、自然災害・第三者行為の件数 [内数]

### 【インシデント報告（鉄道事業法・鉄道事故等報告規則に基づく報告）】

インシデントとは、「鉄道運転事故には至らなかったが、事故が発生するおそれがあると認められる事態」のことです。平成22（2010）年度は、1件のインシデントが発生しました。

（件数）

閉そく 違反	信号 違反	信号 冒進	本線 逸走	工事 違反	車両 脱線	施設 障害	車両 障害	危険物 漏えい	その他	計
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

※当社ではインシデント報告が義務付けられた平成13（2001）年度から平成20（2008）年度まで、インシデントは発生していません。

### 3. 主な事故・輸送障害・インシデントの内容 [平成22(2010)年度実績]

#### ○輸送障害（閉そく装置故障）

##### ①発生日時・場所

平成22（2010）年6月2日 午前1時55分頃 大物駅～千船駅間

##### ②事故概要

杭瀬駅付近での新造5550系車両の試験走行において、電気係員が電気回路の接続を誤り、杭瀬駅付近の3箇所の閉そく信号機の制御ボックス内の継電器等を損傷し、各信号機が機能不全となりました。

##### ③事故対応

配線及び焼損機器を取替え、午前11時09分に通常運転に復帰しました。この間、約140本の列車に運休や遅れ等の影響がありました。

##### ④対策

- ・作業手順書の見直し及び他の手順書への水平展開
- ・運転保安設備の重要性の再教育および同種事故の他社事例研究の実施

#### ○インシデント

##### ①発生日時・場所

平成23（2011）年2月16日 午後9時39分頃 阪神なんば線・桜川駅～大阪難波駅間

##### ②発生状況

回送列車が桜川駅より大阪難波駅方面に発車後、床下からの異音により緊急停止。主制御器内主回路断流器に損傷が発生しており、当該制御器が動作不能となりました。

##### ③事故対応

応急措置のため19分停止後、車庫に回送、入庫しました。この影響で1本の列車運休等の影響がありました。

##### ④対策

当該車両を保有する近畿日本鉄道（株）から緊急対策として同形式の断流器搭載車両を一斉点検し、その後、断流器部品の製作不良が判明、不良品について全て交換したとの報告を受けました。